

第6部

申請書等の様式と記入例

第6部 申請書等の様式と記入例

別紙 1	排水設備計画確認申請書	8 1
別紙 2	排水設備工事材料表（自己資金工事）	8 2
別紙 3	排水設備工事設計書（貸付資金工事）	8 3
別紙 4	排水設備工事図面	8 4
別紙 4-1	床下集合配管システムに係る確認書	8 5
別紙 5	排水設備計画確認通知書	8 6
別紙 6	水洗便所改造等資金 排水設備設置資金	貸付申請書 8 7
別紙 7	排水設備工事完成届書	8 8
別紙 8	公共下水道使用開始（休止・廃止・再開・変更）届書	8 9
別紙 9	排水設備工事検査表	9 0
別紙 9-1	床下集合配管システム（排水ヘッダー）チェック表	9 1
別紙 10-1	工事写真（1）	9 2
別紙 10-2	工事写真（2）	9 3
別紙 11	貸付金の代理受領に関する委任状兼貸付金振込口座依頼書	9 4
別紙 12	水洗便所改造等資金 排水設備設置資金	借用書 9 5
別紙 13	排水設備検査済書	9 6
別紙 14	取り止め届	9 7
別紙 15	公共柵設置申請書	9 8
別紙 16	行為の許可（許可事項の変更許可）申請書	9 9
別紙 17	公共下水道私費工事（変更）承認申請書	1 0 0
別紙 18	閲覧申込書	1 0 1

排水設備計画確認申請書

排水設備確認申請書は丁寧に記入し、折り曲げたりしないこと。(申請書および完成書類(工事設計書、図面、検査表)は排水台帳として保管されます。)

排水設備計画確認申請書

函館市公営企業管理者企業局長 様

申請者 氏名 住所

年 月 日

次のとおり排水設備の計画の確認を受けたいので申請します。

工事の施行場所	函館市 町 丁目 (番地) 番	号 (台所、網脱、手洗、水洗便所、その他)
工事の種類	新設	増設
排水設備の使用者	住所 (所在地) 氏名 (名称)	町 丁目 (番地) 番
工事施行業者	住所 (所在地) 氏名 (名称)	町 丁目 (番地) 番
工事着手予定年月日	年 月 日	
工事完成予定年月日	年 月 日	
排水設備計画確認通知書の送付先	申請者	工事施行業者

(注) 他人の土地もしくは家屋または他人の設置した排水設備を使用するときは、その同意書(ただし、所有者の同意を得ることが著しく困難であると認められるときは、管理者が必要と認める事項を記載した書面)を添付して下さい。

(受取)

課長	主査	主査	審査	主査
主査	主査	主査	審査	受付

(水費関係)

区	水洗工事	自己資金	世帯	附近見取図	S=1/4
分	雑排水工事	貸付資金	基		
	水道使用、井戸水使用、水道・井戸水併用	自家・貸家・宿舍			
	アパート・官公庁()	浄化槽切替			
	その他()				
処理区	第 次 (合流・分岐・分岐改道)	年 月 日			
確認年	月 日	年 月 日			
完成年	月 日	年 月 日			
検査年	月 日	年 月 日			
工事見積	事 額	円			
工事精算	事 額	円			

(10) 地図貼付

利害関係人の同意書

私の所有する物件に申請者が排水設備工事を施工または接続することに同意します。

住所	排水	住所
氏名	印	氏名
住所	排水	住所
氏名	印	氏名

完成後の結果、合帳と認められるので排水設備検査書を送付して下さい。

(送付)

課長	主査	主査	審査	主査
主査	主査	主査	審査	受付

(他非申請人)

課長	主査	検査	入力
----	----	----	----

- ① 提出年月日を記入すること。
- ② 排水設備の工事箇所を○で囲むこと。(施行箇所)
- ③ 排水設備工事の種類を○で囲むこと。
- ④ 住所は実際に使用する者の住所、氏名は実際に使用する者の氏名または名称(C/Oアパート、O/O(株)等)を記入する。申請者の住所は、申請時に居住している住所とする。
- ⑤ 工事着手予定日は、①の日付以降とすること。
- ⑥ 完成予定日を記入すること。
- ⑦ 希望する「排水設備計画確認通知書」の送付先を○で囲むこと。
- ⑧ 適切な箇所を○で囲むこと。世帯数、基数は必ず記入すること。
- ⑨ 記入しないこと。
- ⑩ 住宅地図を使用すること。施行場所に印をつけること。
- ⑪ 貸付資金利用時のみ見積額を記入すること。
- ⑫ 他人の土地もしくは家屋または他人の設置した排水設備を使用する時は、この欄に記入押印すること。ただし、所有者の同意を得ることが著しく困難であると認められる時は、管理者が必要と認める事項を記入した書面を添付すること。
- ⑬ 無落雪住宅の場合は、備考欄に無落雪と記入すること。

排水設備工事図面

平面図, 立体図, (給水工事がある場合は給水図も含む)を記入すること。

施工場所 申請者住所	町 町	丁目 丁目	番 番	使用番号 申請番号	(名称))	住所 事務所 代表者氏名 責任技術者	電話
年 月 日 (日)							
TEL () ~ ()							

平面図のよりの**立体図** S=1/ (※他、土地境界を記入のこと)

③ 縮尺を記入すること。

④ 申請者の電話番号を記入すること。

⑤ 平面図, 立体図は設計凡例等を使用すること。

⑥ 方位を記入すること。

⑦ 軒径, 棟梁を記入すること。

⑧ 管路延長, 管径, 勾配を記入すること。

⑨ 公私, 隣接境界線を記入すること。

⑩ 軒径, 棟梁を記入すること
なお, コンクリート製か塩ビ製かを必ず記入すること。

⑪ 便器の種類を記入すること。

⑫ 建物所有者の氏名を記入すること。

⑬ 隣家の氏名を記入すること。

⑭ 床下集合配管システムを設置する際は, 排水ヘッダーおよび床下点検口の位置を記入すること。

⑮ 床下集合配管システムを設置する際は, 配管設置図を記入すること。

申請時は提出月日を, 完成時は完成月日を記入すること。

⑬ 排水ヘッダー配管設置図

⑭ 便器の種類を記入すること。

床下集合配管システムに係る確認書

年 月 日

函館市公営企業管理者 企業局長 様

申 請 者 住所

氏名

排水設備設置場所

函館市 町 丁目 番 号

上記の場所に施行する排水設備工事において、下記事項により詰まり、凍結その他の問題等が起きないように維持管理し、今後、問題が生じた場合には当方にて処理します。

なお、第三者にこの物件を引き渡すことが生じた場合には、確認事項を継承いたします。

記

事 項

- ・屋内床下で排水管を集合させる。
- ・床下集合配管システム（排水ヘッダー）の使用。
- ・メーカー名（ ）

工事施工業者

責任技術者

受付 番号	
----------	--

排水設備計画確認通知書

年 月 日

様

函館市公営企業管理者

企業局長

印

次のとおり排水設備の計画を確認したので通知します。

工 事 の 施 行 場 所	函館市 町 丁目 (番地) 番 号 [台所 湯殿 手洗 水洗便所 その他]
工 事 の 種 別	新 設 増 設 改 築
排 水 設 備 の 使 用 者	住 所 (所在地) 函館市 町 丁目 (番地) 番 号
	氏 名 (名 称)
工 事 施 行 者 工 業	住 所 (所在地) 函館市 町 丁目 (番地) 番 号 電 話
	氏 名 (名 称)
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日

別記第1号様式(第3条関係)

水洗便所改造等資金 貸付申請書
排水設備設置資金

① 年 月 日

函館市公営企業管理者企業局長 様

函館市水洗便所改造等資金および排水設備設置資金貸付条例施行規程第3条の規定に基づき、関係書類を添えて次のとおり申請します。

種 別	□水洗便所改造等資金		□排水設備設置資金	
申請者	住所 (ふりがな) 氏名 ※自署	②	自宅 電話番号 携帯 電話番号	
連帯保証人	生年月日 勤務先住所 勤務先	年 月 日	勤務先 電話番号 年取 たは まは 所得 額	円
	住所 (ふりがな) 氏名 ※自署	③	自宅 電話番号 携帯 電話番号	
	生年月日 勤務先住所 勤務先	年 月 日	申請者の職 勤務先 電話番号 年取 たは まは 所得 額	円
工事施行場所	函館市 町 丁目 番地	番 号		
建物区分	□自家 □貸家 □借家 □アパート	戸 数	戸 基 数	基
工事施行業者	住 所 (所在地) 氏 名 (佐 称)			
工事見積額	円	貸付申請額	円	翻増額
(申請者と建物所有者が異なる場合)	同意	□水洗便所に改造 申請者が □排水設備を設置 することに同意します。		
	住所	〒		
	氏名	※自署 ④		

- ① 提出日を記入すること。
- ②③④ 必ず本人が署名すること。
- ⑤ 内容を確認し、チェックすること。

- 私(申請保証人含む、以下同。)は、函館市水洗便所改造等資金および排水設備設置資金貸付条例、司未の施行規程を承認し、了承します。
- 本工事は、新築・増築による建築確認申請を要しないものです。
- 本工事は、新築・増築による建築確認申請を要しないものです。
- 本申請の審査に当たり、私の所得の状況および市税の納入状況等について調査することに同意します。

⑤

排水設備工事完成届書

年 月 日 ①

函館市公営企業管理者企業局長 様

住 所
届 出 者
氏 名

②

- ① 提出日を記入すること。
- ② 貸付工事の場合は、届出者は申請者とする。
- ③ 実際に使用する者の住所、氏名を記入すること。
(〇〇アパート、〇〇(株)等)
- ④ 工事全てが完了した日とする。

次のとおり排水設備工事が完成したので届け出ます。

工事の施行場所	函館市	町	丁目	(番地) 番 号 (住所、通称、手荒、水洗便所、その他)
排水設備の使用者	住 所 (所在地) 氏 名 (名称)	町	丁目	(番地) 番 号 ③
工事施行者	住 所 (所在地) 氏 名 (名称)	町	丁目	(番地) 番 号 電話
計画確認年月日	年	月	日	
工事着手年月日	年	月	日	
工事完成年月日	年	月	日	④

別記第6号様式（第5条関係）

公共下水道使用開始（休止・廃止・再開・変更）届書

別紙 8

年 月 日 ①

函館市公営企業管理者企業局長 様

住 所

届 出 者

氏 名

②

- ① 提出日を記入すること。
- ② 届出者は使用者となるが、代理人も可とする。
アパートの場合などは、使用者全員提出すること。
- ③ 排水の種類を記入すること。
- ④ 居住者の人数を記入すること。

次のとおり公共下水道の使用を開始（休止・廃止・再開・変更）したので届け出ます。

使 用 場 所	函 館 市	町 丁 目	(番 地) 番 号
排水の種類別	水道水	家庭用	事業用（業種） ③
	温 泉	家庭用	事業用（業種）
	井 戸	家庭用	事業用（業種）
	そ の 他 ()	家庭用	事業用（業種）
居 住 人 数	人 ④		
使用の開始（休止・廃止・再開・変更）年月日	年 月 日 ⑤		

排水設備工事検査表

①	確認通知年月日	年月日	検査年月日	年月日	②
	確認申請受付番号	号	施行業者		
	工事の施行場所	町丁目番号	責任技術者名	世帯世帯	③
	申請者氏名		世帯数	工事の増設・改築	④
検査項目		検査内容			
排水設備	材料および器具	<input type="checkbox"/>	規格品、または同等品以上を使用している。		
	管	<input type="checkbox"/>	排水本管の内径は100mm以上である。		
		<input type="checkbox"/>	大便器排水管の内径は75mm以上、小便器は40mm以上である。		
	勾	<input type="checkbox"/>	器具排水管は、器具トラップの口径以上、かつ30mm以上である。		
	管	<input type="checkbox"/>	2/100以上である。(やむを得ない場合は、1/100以上)		
	土かぶ	<input type="checkbox"/>	各樹間において直線であり、滞水がない。		
	リ	<input type="checkbox"/>	30cm以上である。		
	管・継手の接続	<input type="checkbox"/>	継手は管と同じ材質であり、接続状態、仕上りが良好である。		
	通気管・通気蓋	<input type="checkbox"/>	設置箇所、設置状態が適切である。		
	樹の設置	<input type="checkbox"/>	排水管の起点・終点・合流点・屈曲点等必要箇所に設置されている。		
付帯工事	樹	<input type="checkbox"/>	直線距離において、管内径の120倍以内に設置されている。		
	トラップ	<input type="checkbox"/>	二重トラップをさせ、適切な箇所に設置されている。		
	樹の据付・形状	<input type="checkbox"/>	傾きがなく水平に設置され、ひび割れ・破損等が生じていない。		
	樹・管の接続	<input type="checkbox"/>	排水管と樹本体が密着し、接続が良好である。		
	雨水	<input type="checkbox"/>	必要に応じ、泥ため(15cm以上)が設置されている。		
	間接排水	<input type="checkbox"/>	適正な排水空間が確保されている。		
	公共樹への接続	<input type="checkbox"/>	管底接続であり、接続部(仕上面等)の施工が良好である。		
	排水状況	<input type="checkbox"/>	各器具から排水された流出状況は良好である。		
	排水除根	<input type="checkbox"/>	下水の排除方式に合わせ、汚水・雨水の接続が適正である。		
	埋	<input type="checkbox"/>	掘削箇所の埋戻しは十分に転圧されている。		
その他	便槽処理	<input type="checkbox"/>	し尿を完全に汲み取り、清掃および消毒を行っている。		
	建築改修工事	<input type="checkbox"/>	復旧(撤去・埋戻し・建物基礎補修等)が良好である。		
	靴洗い場排水	<input type="checkbox"/>	トイレ内の改修工事(保温・クロス張替等)が良好である。(買付の場合)		
	阻集器の設置	<input type="checkbox"/>	臭気・詰まり等の防止対策、および雨水の流入がない構造である。(汚水)		
地下水	床下集合配管システム	<input type="checkbox"/>	使用目的に適合した阻集器が適切な箇所に設置されている。		
	無差雪排水等	<input type="checkbox"/>	集合配管部開口部、および保守点検に必要なスペースが確保されている。		
	等の使用	<input type="checkbox"/>	ルーフトレーン等の排出先が適正である。(雨水等)		
	排水料の算定	<input type="checkbox"/>	排水汚水料の算定ができる。 <input type="checkbox"/> 井戸水 <input type="checkbox"/> 温湯 その他()		
竣工図面	平面図	<input type="checkbox"/>	方位が記入されている。		
	断面図	<input type="checkbox"/>	樹径・樹深が記入されている。		
		<input type="checkbox"/>	管路延長・管径・勾配が記入されている。		
		<input type="checkbox"/>	公私、隣接境界線が記入されている。		
		<input type="checkbox"/>	公共樹等接続先が記入されている。		

①確認通知書の年月日を記入すること。

②立会検査をした年月日を記入すること。

③排水設備責任技術者の氏名を記入すること。

④確認申請書の工事種別に準ずること。

⑤該当する箇所にチェック(レ)をすること。

床下集合配管システム（排水ヘッダー）チェック表

函館市公営企業管理者 企業局長 様

確認申請番号 _____ 号 ①

② 使用メーカー名 (_____)

- 集中配管部の据付・固定等は適正に設置されている。
- 管勾配を保持する支持位置および固定は適正に施工されている。
- 排水器具から集中配管部までの管勾配は規定勾配以上に施工されている。
- 器具接合部は確実に施工されている。
- 通水試験による漏水箇所がない。
- 床下点検口が設置されている。
- 露出配管に伴う凍結防止対策がされている。

③ _____

上記のとおり、工事が完了したことを報告します。

④ _____ 年 月 日

工事施工業者

責任技術者 _____ ⑤

①確認申請番号を記入すること。

②使用メーカー名を記入すること。

③該当する箇所にチェック(レ)をすること。

④自主検査を行った日を記入すること。

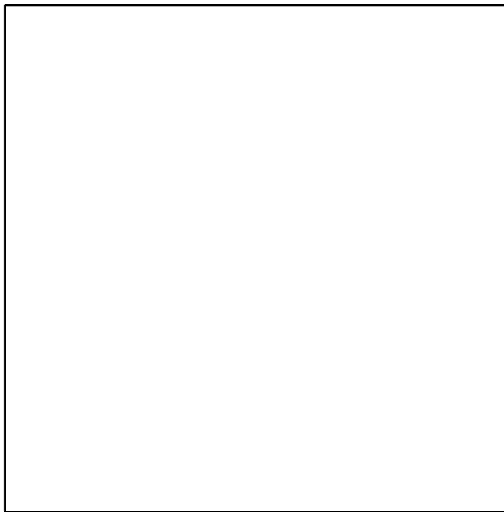
⑤施工業者名・責任技術者名を記入すること。

工事写真(1)

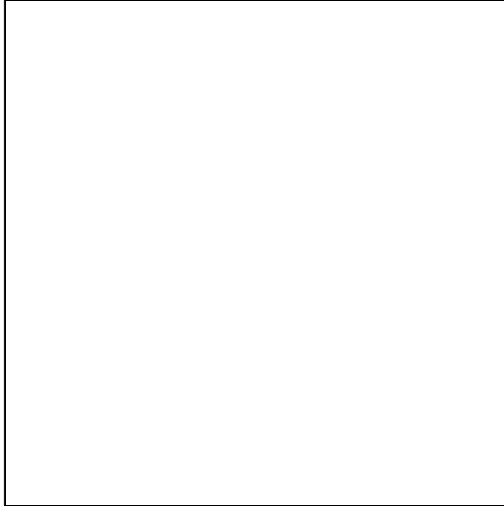
別紙10-1

水洗便所改造工事写真

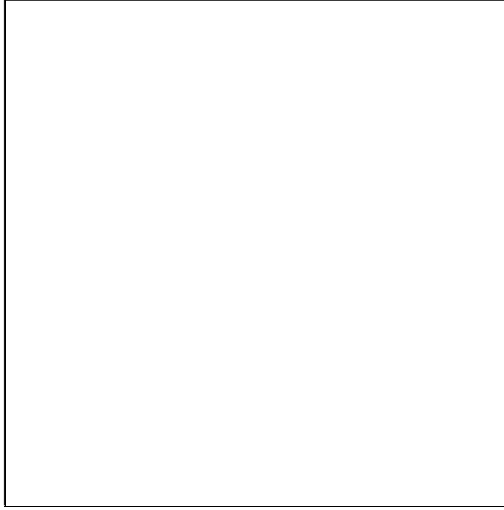
改造前(トイレ内部)



改造後(トイレ内部)



給水接続状況



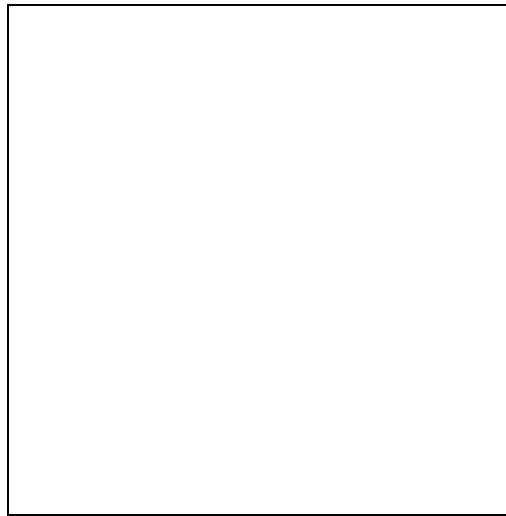
工 事 名	水 洗 便 所 改 造 工 事
施 行 場 所	函 館 市 町 丁 目 番 号
申 請 者 名	
施 行 業 者	

工事写真(2)

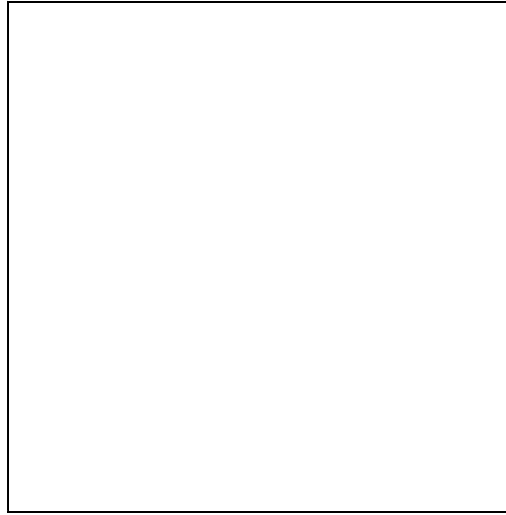
別紙10-2

水洗便所改造工事写真

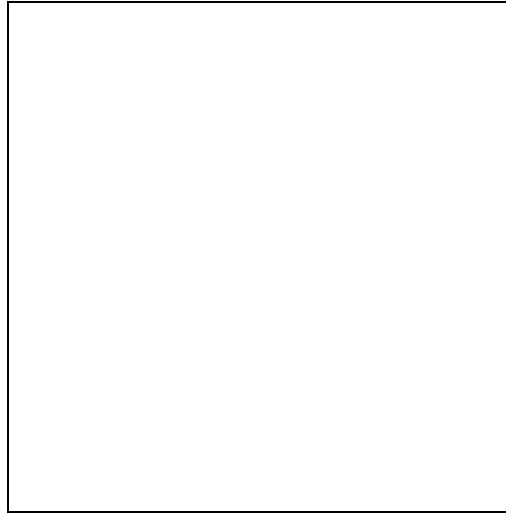
ガラスウール(床)



ガラスウール(壁)



ガラスウール(天井)



工 事 名	水洗便所改造工事
施 行 場 所	函館市 町 丁目 番 号
申 請 者 名	
施 行 業 者	

貸付金の代理受領に関する委任状 兼 貸付金振込口座依頼書

函館市公営企業管理者企業局長 様 ① 年 月 日

委任者 住所： _____ 印
 (貸付決定者) 氏名： _____ ② 印

1. 委任者の私は、下記の代理受領者を受任者とし、私が先に申請した「函館市水洗便所改造等資金および排水設備設置資金貸付条例」に基づく資金の貸付けの受領に関することを下記受任者に委任します。

受任者 住所： _____ 印
 (代理受領者) 氏名： _____

2. 委任者の私は、貸付金の受領を下記の金融機関の口座へ振込むよう依頼します。

金融機関名	銀行	本店
	金庫	支店
	組合	出張所
預金種別	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	
金融機関コード	支店コード	口座番号
口座名義人 (受任者)	7) カナ _____ ④	

3. 委任者の私は、下記の各号を承諾します。
- (1) 本依頼書を提出することにより、実際の貸付けを約束するものではないこと。
 - (2) この受領の方法は委任者の責任において希望するものであり、受任者において当該貸付金受領のうえは、本工事の請負契約上の瑕疵その他の事由により紛争が生じた場合でも、貴局に一切迷惑をかけることなく委任者と受任者の間ですべて解決すること。
 - (3) 委任者は本件委任事項を受任者以外の者に重ねて委任しないこと。また、受任者は復代理人を選任しないこと。
 - (4) 委任者は貴局に対して有する貸付金請求の権利を他に譲渡あるいは質入れしないこと。
 - (5) 前記貸付金は受任者が受領することとし、委任者はこれを受領しないこと。
 - (6) 本件委任について法定の終了事由（死亡・破産等）が発生した場合には、委任者または受任者が速やかに貴局に対し書面により届出をすること。また、この届出がないまま貴局が本件委任の内容に従って受任者に貸付金を交付した場合には貴局が免責されること。
 - (7) 受任者が代理受領すべき金額は、「函館市水洗便所改造等資金および排水設備設置資金貸付条例」第3条の規定に基づく金額となることを了承していること。

- ① 提出日を記入すること。
- ② 印鑑登録印を押印すること。
- ③ 工事施工業者のこと。(代表者印を押印)
- ④ 工事施工業者名義の口座を記入すること。
 ※指定する口座の「通帳の写し」(金融機関名・口座番号・口座名義の
 確認ができるもの)および工事施工業者から貸付金申請者への当該工事
 代金全額の「請求書の写し」を添付すること。

【表】

別記第3号様式(第4条の2関係)

収 入	本 住 居 改 造 等 資 金 借 用 書
⑤	排 水 設 備 設 置 資 金
印	

① 年 月 日

函 南 市 公 営 企 業 管 理 者 企 業 局 長

借 受 人 氏 名

住 所

② 印

借受人である私は、水洗便所改造等資金、排水設備設置資金を借入しますので、函南市水洗便所改造等資金および排水設備設置資金貸付条例、同条例施行規程(以下「施行規程」という。)および本借入書の下記条項に従い償還します。
なお、本借入書は、第1条に規定する「借入金の受領方法」による「借入日」をもって成立し、その効力が生じることと同意します。
また、当該貸付金の償還を完了するまでの間、私の所得の状況および市税の納入状況等について調査することに同意します。

③

(借入金額および償還方法等)

第1条 借受人は、次のとおり償還するものとす。

借 用 金 額	円			
借 用 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	回
借 用 金 の 受 領 方 法				
償 還 回 数	年 月 日	年 月 日	年 月 日	回
償 還 金 額	第1回	円、第2回以降	円	
償 還 期 限	毎月末日(12月は28日)			

※上記本枠内は公営企業管理者で記入します。

(一時償還)

第2条 公営企業管理者(以下「管理者」という。)は、貸付金の貸付けを受けた者(以下「借受人」という。)が次の各号のいずれかの場合に該当する場合は、償還期限前であっても貸付金の全額または一部を一時に償還させることができる。

- (1) 3月以上貸付金の償還を怠ったとき。
- (2) 当該貸付金に係る建物の所有者または占有者でなくなったとき。
- (3) 偽りその他の不正の行為により貸付金の貸付けを受けたとき。

(償還方法の特例)

第3条 管理者は、借受人が災害その他の理由により貸付金を償還期限までに償還することが困難であると認めるときは、借受人の申請により償還期限を延期することができる。
2 前項の申請は、施行規程別記第5号様式の申請書によりしなければならない。
3 管理者は、前項の申請があったときは、速やかに事情を調査のうえ、償還期限の延期

【裏】

の可否を決定し、施行規程別記第6号様式の通知書により当該申請をした借受人に通知するものとする。

(延滞違約金)

第4条 管理者は、借受人が貸付金を償還期限までに償還しないときは、当該償還期限に係る償還金額にその期限の翌日から償還した日までの日数に応じ年10.96パーセントの割合を乗じて計算した金額に相当する延滞違約金を加算して徴収するものとする。ただし、延滞違約金の額に100円未満の端数があるとき、またはその全額が500円未満であるときは、その端数またはその全額を徴収しない。

2 前項に規定する年当りの割合は、四(じゆん)年の日を含む期間についても365日当りの割合とする。

(連帯保証人)

第5条 連帯保証人は、1人とする。

2 連帯保証人は、次に掲げる要件を備えている者でなければならない。

(1) 原則として函南市内に住所を有すること。

(2) 独立の生計を営む者またはこれに準ずる者であると管理者が認める者で、貸付金の償還能力を有するものであること。

3 連帯保証人は、借受人と連帯して、債務を負担するものとする。

(異動等の届出)

第6条 借受人または連帯保証人は、住所、氏名、職業または勤務先等を変更したときは、速やかに施行規程別記第7号様式により管理者に届けなければならない。

2 借受人は、破産法その他の法令の規定により、当該債権について免責となつたときは、速やかに施行規程別記第7号様式により管理者に届けなければならない。

3 借受人が死亡したときは、ただちに法定相続人の中から代表者(以下「相続人代表者」という。)を定め、相続人代表者は、施行規程別記第8号様式により管理者に届けなければならない。ただし、連帯保証人が法定相続人である場合は、この限りでない。

4 借受人は、次の各号のいずれかに該当する場合は、ただちに新たな連帯保証人を定め、施行規程別記第9号様式により管理者に申請し、その承認を得なければならない。

(1) 連帯保証人が死亡したとき。

(2) 連帯保証人が第5条第2項各号に規定する要件を欠くこととなつたとき。

5 管理者は、前項の申請があつた場合において、新たな連帯保証人を承認することと決定したときは施行規程別記第10号様式の通知書により、新たな連帯保証人を承認しないことと決定したときは施行規程別記第10号様式の2の通知書により当該申請をした借受人および新たな連帯保証人に通知するものとする。

(連帯保証人に対する情報提供)

第7条 管理者は、連帯保証人の請求があつたときは、連帯保証人に対し、遅滞なく、償還状況、滞納金額、延滞違約金およびその他借受人の債務に関する情報を提供しなければならない。

2 管理者は、第2条の規定により借受人に一時償還させることを決定したときは、その決定の日から2月以内に、その旨を連帯保証人に通知しなければならない。

第8条 本借入書の記載内容に従い、当該貸付金を借受人が償還しないときは、私が代わつて償還します。当該貸付金の償還を完了するまでの間、私の所得の状況および市税の納入状況等について調査することに同意します。

住所 連帯保証人 氏 名 ④ 印

① 提出日を記入すること。

② 借受人の印鑑登録印を押印すること。

③ 太枠欄は記入しないこと。

④ 保証人の印鑑登録印を押印すること。

⑤ 収入印紙貼付し借受人と保証人の消印を押すこと。

(参考)

借入書に貼付する収入印紙は次のとおり。

借 用 金 額	印 紙 料 額
1万円を越え 10万円以下	200円
10 50	400円
50 100	1,000円
100 500	2,000円

排水設備検査済書

第 号
年 月 日

様

函館市公営企業管理者

企業局長

印

次のとおり排水設備の工事を検査しました。

工 事 の 施 行 場 所		函館市	町	丁目	(番地) 番 号	〔台所 湯殿 手洗〕 水洗便所 その他
排 水 設 備 の 使 用 者	住 所 (所在地)	函館市	町	丁目	(番地) 番 号	
	氏 名 (名称)					
工 事 施 行 者	住 所 (所在地)	函館市	町	丁目	(番地) 番 号	
	氏 名 (名称)					
計 画 確 認 年 月 日	年 月 日					
検 査 年 月 日	年 月 日					

取 り 止 め 届

年 月 日

函館市公営企業管理者企業局長 様

住 所

申請者

氏 名

先に申請しました、次の排水設備については、工事を取り止めましたので届け出します。

施行場所	函館市 町 丁目 番 号
申請年月日 および番号	申 請 年 月 日
事 由	
排水設備 工事業者	住 所
	名 称
	代表者氏名

公共柵設置申請書

年 月 日

函館市公営企業管理者

企業局長

様

申請者 住所

氏名

次のとおり公共柵を設置願いたいので申請します。

施行場所	函館市 町 丁目 番号
設置理由	
施行希望年月日	年 月 日まで
排水設備業者	
付近見取図	別紙のとおり

備考

.....

.....

別記第10号様式（第11条関係）

行為の許可（許可事項の変更許可）申請書

年 月 日

函館市公営企業管理者

企業局長 様

申請者 住 所

氏 名

次のとおり行為の許可（許可事項の変更許可）を受けたいので申請します。

行為の区分	
行為の目的	
行為の期間	年 月 日から 年 月 日まで
行為の場所	函館市 町 丁目 (番地) 番 号

注 許可事項の変更許可にあつては、変更の内容を記載すること。

公共下水道私費工事（変更）承認申請書

年 月 日

函館市公営企業管理者
企業局長 様

申請者 住 所

氏 名

TEL — —

記

1. 設置場所

2. 道路種別 国道, 道道, 市道 (号線), 私道

3. 施設内容

・下水道本管	(汚水・雨水)	管種・呼び径	mm, 延長	m
	(汚水・雨水)	管種・呼び径	mm, 延長	m
・取付管	(汚水・雨水)	管種・呼び径	mm, 延長	m
	(汚水・雨水)	管種・呼び径	mm, 延長	m
・マンホール	(汚水・雨水)		号,	基
	(汚水・雨水)		号,	基
・柵	(汚水・雨水)		型,	基
	(汚水・雨水)		型,	基

4. 予定工期 年 月 日～ 年 月 日

5. 施行業者 住 所 _____

業 者 名 _____

現場代理人 _____

TEL — —

6. 添付書類 位置図・平面図・縦断図・詳細図・流量計算書・土地使用承諾書

7. 施設の引渡 設置する施設については, 工事完了後, 函館市に無償譲渡します。

閲 覧 申 込 書

年 月 日

請求者	氏 名				電 話			
	会 社 名	(法人・個人)						
	住 所							
給水装置および排水設備台帳	設 置 場 所	函館市	町	丁目	番地	号		
	利 用 目 的	<input type="checkbox"/> 新設・改造・撤去・仮設工事給水等申請調査 <input type="checkbox"/> 既設配水管及び給水管の配管状況調査 <input type="checkbox"/> 新設・改造工事等排水設備申請調査 (個人) <input type="checkbox"/> 既設排水管の布設状況調査 <input type="checkbox"/> 既設下水道本管の布設状況調査 (公共下水道管) <input type="checkbox"/> その他 <p style="text-align: center;">※ 利用目的の□に✓を記入すること。</p>						
	閲 覧 項 目	<input type="checkbox"/> 給水装置 (個人) <input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 排水設備 (個人) <input type="checkbox"/> 下水道本管 (公共下水道管) <p style="text-align: center;">※ 閲覧する項目の□に✓を記入すること。</p>						
複写申込	複 写 申 込	有り 無し (どちらかに○)						
	複 写 資 料	<input type="checkbox"/> 管路図 枚数 枚 <input type="checkbox"/> 給水装置 (個人しゅん工図) 枚数 枚 <input type="checkbox"/> 排水設備 (個人しゅん工図) 枚数 枚 <input type="checkbox"/> その他 枚数 枚 <input type="checkbox"/> 下水道本管 (公共下水道管) 枚数 枚 <input type="checkbox"/> その他 (分流改造工事図面等) 枚数 枚 <p style="text-align: center;">※ 必要とする複写資料の□に✓を記入すること。</p>						

閲覧に関しては、下記の留意事項を遵守し、窓口担当者の指示に従ってください。

- 1 利用目的を確認できる資料（工事契約書の写し、見積依頼書等）の提示を求める場合があります。
- 2 閲覧において得た個人の情報（特定の個人が識別できる住所及び氏名などのほか、家屋の間取り、利害関係事項等）は、個人のプライバシーの保護並びに基本的人権を侵害することのないよう、十分な配慮をして下さい。
- 3 閲覧により知り得た事項は、使用目的以外には絶対に使用しないこと。また、閲覧等に基づいて作成した書面等は、他に漏れることのないよう管理し、給水装置申込書等の目的達成後においては、不必要となった書面は焼却等の方法により速やかに廃棄して下さい。

企業局確認欄
担当職員

企業局確認欄
担当職員

